

寺山修司没 30 年記念認定事業

# 「寺山修司の言葉展」巡回展開催

## 寺山修司の言葉展

2013 年、年明けから様々な企画で話題を生んできた寺山修司没後 30 年。寺山修司の地元、青森・三沢で、寺山修司没後 30 年のフィナーレを飾る企画展として「寺山修司の言葉展」を開催します。

本展は、アクセサリーを中心に幅広い分野でデザインを手掛ける「e.m.(イー・エム)」が、2013 年 10 月 14 日(月)から 11 月 4 日(月)まで、伊藤忠青山アートスクエアにて開催し、好評を得た展覧会の巡回展で、詩人、劇作家、写真家、映画監督、多くのジャンルで活躍したことで知られ“言葉の錬金術師”と呼ばれた寺山修司氏の言葉を扱う内容。

寺山修司氏は、「私が死んでも墓は建ててほしくない。私の墓は私の言葉であれば充分」と書き残すほど、多くの偉大なる言葉を生み出しました。

そんな寺山修司の色褪せない魅力の一つである言葉に、没後 30 年の今日も沢山の人々が感化されています。

時には心を揺さぶり、時には答えを導き、時には創造力を駆り立てる、一つの言葉。

本展では、e.m.のみならず、あらゆるジャンルで活躍するトップクリエイターが、寺山修司の言葉にインスパイアされた作品を発表します。

クリエイターの視座から、時代の価値観によって変遷し、視覚的に表現された寺山修司の言葉をお楽しみください。

※初日 11 月 30 日午後は、クリエイターが数名、会場に常駐しております。

## 「寺山修司の言葉展」概要

期間 2013年11月30日(土)-2014年3月30日(日)

月曜休館(祝日の場合は翌日)

12月29日~1月3日年末年始休館

時間 9:00-17:00(入館は16:30まで)

入館料 一般500円(常設展入館料含む)

会場 寺山修司記念館エキジビットホール

青森県三沢市大字三沢字淋代平 116-2955

主催 三沢市寺山修司記念館/テラヤマ・ワールド

ポスターハリス・カンパニー

共催 三沢市

寺山修司五月会

イー・エム・デザイン株式会社

後援 三沢市商工会・(一社)三沢市観光協会・公益社団法人三沢青年会議所・東奥日報社

デーリー東北新聞社・陸奥新報社・河北新報社・朝日新聞青森総局・毎日新聞青森支局

読売新聞青森支局・産経新聞社青森支局・共同通信社青森支局・青森放送・青森テレビ

青森朝日放送・エフエム青森・コミュニティラジオ局 BeFM、青森ケーブルテレビ

首都圏宣伝 ポスターハリス・カンパニー

URL <http://www.em-grp.com/topics/view/1238>

### e.m.

1996年“みんながよろこぶものづくり”“ありそでなさそなものづくり”をコンセプトに仲谷英二郎、飛田真義によって、ジュエリーとインテリアを取り扱うブランド「e.m.」を設立。独創的な発想と世界観が幅広い年代に支持され、現在はセレクトショップなどへの卸事業とともに、全国に直営店を展開。またジュエリーやインテリアにとどまらず、空間やグラフィックのデザインおよびディレクションを手掛ける。

公式サイト: <http://www.em-grp.com/>

〈本リリースに関するお問い合わせ先〉

PRESS ROOM

担当:相澤利佳

03-3449-1192 / [r-aizawa@em-grp.com](mailto:r-aizawa@em-grp.com)

【参加クリエイター】

※ABC 順・敬略

■ D[di:] / 作家・イラストレーター



宮崎駿監督のお墨付きで出版、デビューをして以来、小説や漫画、ファッションなど多岐に渡って活躍してきた D[di:]。繊細なタッチ、独特のリズム感、リカルな文章が紡ぐ世界観は多くの著名人たちも虜にしている。オフィシャルサイト:[deeth.net](http://deeth.net) オフィシャルショップ:[deeth.shop-pro.jp](http://deeth.shop-pro.jp)

■ 大日本タイポ組合 / グラフィックデザイナー



1993年に秀親と塚田哲也により結成。グラフィックデザインを中心に、文字を解体・再構築し新しい文字の概念を探る実験的タイポグラフィ集団。出版物に『Type Card Play Book』(ACTAR)『大日本字』(誠文堂新光社)。2013年9月かみの工作所より「G.a.m.e.」発売。<http://dainippon.type.org/>

■ e.m. / ジュエリーデザイナー



1996年“みんながよろこぶものづくり”“ありそでなさそなものづくり”をコンセプトに  
仲谷英二郎、飛田真義によって、ジュエリーとインテリアを取り扱うブランド『e.m.』設立。  
独創的な発想と世界観が幅広い年代に支持され、  
現在はセレクトショップなどへの卸事業とともに、全国に直営店を展開。  
またジュエリーやインテリアにとどまらず、空間やグラフィックのデザインおよびディレクションを手掛ける。

■ えぐちりか / アートディレクター・アーティスト



アートディレクターとして働く傍ら、アーティストとして国内外で作品を発表。最近の仕事に、ソフトバンク「PANTONE∞」、ベネッセこどもチャレンジ baby2013 教材玩具トータルアートディレクションなど。  
2011年フィギュアスケート高橋大輔選手のフリープログラムの衣装を担当するなど、平面から立体、  
広告や衣装など幅広い活動を展開。JAGDA 新人賞、ひとつぼ展グランプリ、岡本太郎現代芸術大賞  
優秀賞受賞、グッドデザイン賞、D&AD 金賞など受賞多数。

■ FUGAHUM / FUGAHUM デザイナー



ブランド名の”FUGAHUM”は、三嶋と山本の考える架空の国家でありその国の名称である。  
”FUGAHUM”は地球上にある架空の国家である。世界のどの国にも歴史があるように”FUGAHUM”  
にも歴史が存在しており、この国の過去にはネイティブが文明人に侵略され、思想や文化が変化した歴史  
が存在する。”FUGAHUM”の文化や習慣は、地球上の歴史を受け入れ共存し繁栄してゆく。  
この国に住む住民は他民族(文明人)から侵略され、今までにない宗教観や文明などの影響を受けて  
自分たちの本質と新しい価値観を生みだしてきた。ベクトルの違う価値観をアレンジし、新しい価値観を  
生み伝え進化することによって、国の歴史が作られていく。その歴史の断面を、ファッションだけにとどまら  
ず様々な方法で表現し、”FUGAHUM”という国を確立していくアートプロジェクトである。

■ 伊藤 勝 / ITO MASARU DESIGN PROJECT / SEI インテリアデザイナー



1961年大阪生まれ、1987年東京造形大学卒業。

カワサキ・タカオ オフィスを経て1991年に独立しSEIco.,ltd.を設立する。2005年 ITO MASARU  
DESIGN PROJECT/SEIに屋号変更。インテリアデザインをツールとして国内外を問わず、そのエッジ  
ーな感覚と独特な切り口に基づく手法により新たなクリエイションを発信し続ける、インテリア業界の異端  
派。“常に視線はコンシューマー”をテーマに日々クリエイションを追求する、究極のクリエイター。

■ 柿木原 政広 / アートディレクター・グラフィックデザイナー



1970年広島県生まれ。ドラフトを経て2007年に株式会社10(テン)を設立。

JAGDA 会員。東京 ADC 会員。

主な作品に singingAEON、R.O.U のブランディング、東京国際映画祭、静岡市美術館、松竹芸能株式会社、富士中央幼稚園の CI。カードゲーム Rocca などを手がける。

2003年日本グラフィックデザイナーズ協会新人賞受賞。2007年森美術館の「日本美術が笑う」で

ADC 賞受賞。2011年「Rocca」で NewYork ADC 賞 SILVER、ONESHOW merit 賞、

東京 ADC 賞受賞。「静岡市美術館」の CI で ONESHOW PENCIL 賞受賞。

2012年「Rocca」で GOOD DESIGN 賞受賞。

■ 神原 秀夫 / プロダクトデザイナー



1978年広島県生まれ。東京造形大学卒業後、TOTO、電通を経て、BARAKAN DESIGN を設立。

プロダクトのみならず、グラフィックやインテリアなど幅広いデザイン領域で活動を展開。

MoMA パーマネントコレクションや D&AD Yellow Pencil、グッドデザイン賞など受賞多数。

東京大学 先端科学技術研究センター 特任助教

■ Kim Songhe / アーティスト



1982年東京生まれ。国籍は韓国。織田デザイン専門学校卒業後、デザイン活動を開始。2005年に、青山のセレクトショップ「Loveless」にて展示したシャンデリア作品が注目を集め、それ以降、ショップ空間のディスプレイなどを数多く手掛ける。彼女が制作するシャンデリアは、レトロなぬいぐるみやアメリカン・トイなど、自らが蒐集した既成のアイテムをコラージュすることで形を成す。「ジャンク・コラージュ」とも表現できるそれらの作品は、ごちゃごちゃのようでありながら奇妙なバランスで統合されており、イノセントな感覚を観る側に呼び起こす。2009年にはサンフランシスコやソウルの美術館などで作品を展示。最近では、達磨や招き猫、熊手といった縁起物に注目し、多幸感あふれる作品を発表している。

■ 黒田潔 / イラストレーター



1975年東京生まれ。線画で描かれる動植物のアートワークで雑誌や本の装丁をはじめ、さまざまな分野で活躍を続ける。東京都現代美術館「MOT アニュアル 10」、韓国のナム・ジュン・パイクアートセンターでの展覧会等、国内外での展覧会に多数参加。2009年(株)KABWA 設立。作品集に「森へ」(ピエ・ブックス)、古川日出男との共作「舗装道路の消えた世界」(河出書房新社)。大阪成蹊大学客員教授。

<http://www.kiyoshikuroda.jp/>

■ 成田 久 / アーティスト・資生堂アートディレクター



1970 年生まれ。アーティスト、資生堂宣伝制作部アートディレクター。資生堂の様々なブランドのアートディレクションを担当。NHK 大河ドラマ「八重の桜」のポスタービジュアルや「ただいま、東北♥」(<http://www9.nhk.or.jp/yaenosakura/tadaima/>) キャンペーン企画、優香を起用した 2012 年のパルコの夏キャンペーンなども。さらに、「成田久」の作品が見られる！着られる！買える！そして、仕事のオーダーもできる！販売所★兼★仕事場「キューキューカンパニー」を 2013 年 6 月に開店。

([www.cuecucuecompany.com](http://www.cuecucuecompany.com))

■ スズキ タカユキ / suzuki takayuki デザイナー



1975 年愛知県生まれ。東京造形大学在学中に友人と開いた展示会をきっかけに映画、ダンス、ミュージシャンなどの衣裳を手掛けるようになる。

2002-03A/W から自身ブランドを立ち上げ、2007 年より東京コレクションに参加。

2009 年には、Milano Unica でのイベント「オン・ステージ」に世界の新興デザイナー 10 名の中の一人として選ばれ、合同ショーに参加。2012 年には、インドにて開催された「Wills Lifestyle India Fashion Week」で合同ショーに参加している。現在では 企業とのコラボレーション、インスタレーションなどの空間演出、ウェディングドレスやユニフォームのデザインを手掛けるなど活動の場を広げている。



■ 武田双雲 / 書道家



1975年熊本生まれ。東京理科大学卒業後、NTTに就職。約3年後に書道家として独立。  
NHK大河ドラマ「天地人」や世界遺産「平泉」、世界のスパコン「京」など数々の題字を手掛ける。  
独自の世界観で、全国で個展を開催。作品集「たのしか」「絆」など著書は20を超える。  
書道教室には250名以上の門下生が通う(2005年新規募集締切)2013年度文化庁から文化交流使に  
任命され、ベトナム～インドネシアにて、様々なワークショップやパフォーマンスを行う。

公式サイト:<http://www.souun.net/> 感謝69:<http://kansha69.com/>

■ 津村 耕佑 / FINAL HOME ファッションデザイナー



'82年 第52回装苑賞受賞、'83年にミヤケデザイン事務所に入社し三宅一生氏の下クリエイションスタッフとしてパリコレや様々な展覧会に関わる。'92年「第21回現代日本美術展」準大賞受賞。

'94年 都市型サバイバルウェア"FINAL HOME"を考案する。

同年、第12回毎日ファッション大賞新人賞、資生堂奨励賞を受賞。'01年、織部賞受賞。

'08年より武蔵野美術大学 空間演出デザイン学科の教授に就任。

■ 山田 遊 / バイヤー、クリエイティブ・ディレクター



IDEE SHOP バイヤーを経て、2007 年株式会社メソッド設立。

「スーベニアフロムトーキョー」「Tokyo's Tokyo」「PASS THE BATON」

「IMF・世界銀行年次総会」等での商品選定やディレクションのサポート等に携わりながら、

花火のセレクトショップ「fireworks」のプロデュースも行う。

2013 年 6 月に「別冊 Discover Japan 暮らしの専門店」が、エイ出版社より発売。